

## 「看護の日」記念行事

日時：令和7年5月10日（土）

場所：ながさき看護センター

内容：講演Ⅰ：『災害から備えを学ぶ』～自分の命は自分で守る～

講師：日本防災士会 長崎支部 防災士 川浪良次さん

講演Ⅱ ①：『災害支援ナースって知っていますか？』

講師：災害支援ナース 辻林玲美さん（社会医療法人三校会 宮崎病院）

講演Ⅱ ②：『災害支援者のメンタル支援について』

講師：DPAT 荒木直人さん（長崎県精神医療センター）

・ふれあい看護体験発表（高校生）

・まちの保健室・こころの喫茶店、出店、バザー 他

参加者：210名

アンケート結果（回収枚数103枚）

### 1. 性別

男性	女性
14	89

### 2. 年齢

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
66	7	1	7	14	6	0	2

### 3. 看護の日 記念行事の開催をどのようにして知ったか

市報	新聞	ホームページ	チラシ	家族・知人	学校関係	職場関係	その他
3	0	2	4	1	73	17	3

### 4. 看護の日 記念行事に参加されたのは今回、何回目か

初めて	2～5回	6～9回	10回以上
47	44	4	8

### 5. 講演『災害から備えを学ぶ』についての満足度

満足	やや満足	やや不満	不満足	未回答
81	22	0	0	0

（理由）

- ・改めて非難経路やアプリがあることを認識したから
- ・災害についての日ごろからの備えの必要性や地域とのつながりを保っておくことの必要性がよくわかった。
- ・キキクルのアプリの存在を知った

- ・避難をする際の大切なことやハザードマップの重要性などについて知ることができたから
- ・避難場所が決して安全な場所である訳では無いという話があり、具体的な事故の話をしたので自分の誤った認識を気づくことが出来たから
- ・新しい知識を得る事が出来ました。防災士の活動を知る事が出来ました。「自分の命は、自分で守る」が一番で、自分を守る事が周囲を守る事に繋がると感じました。
- ・自分の命は自分で守るために日頃からの備えが大切だと改めて感じました。
- ・災害時の留意事項や避難場所をこれから意識しようと思った。
- ・災害時の避難行動、避難関連死というものがあるということを知ったから
- ・多くのスライドからいろいろな現場の状況を見てここへの対応に限界があったとしても過去の教訓からポイントを知り工夫できることがわかりました。
- ・長崎県内の断層マップを示してほしい。
- ・避難所での具体的な運営（地域ごと、段ボール使用）、準備品の説明など聞いて良かった「自分の命は自分で守る」 Good!
- ・自分の命は自分で守ろうと思った。共助をできる人になりたいと思った
- ・常識なことから、さらに詳しいことまで再度、認識を改められる良い機会になったと思います
- ・自分たちが災害に巻き込まれそうなときの対処法などを知ることができた
- ・災害が起きる前・後の備えについてよく知れたからです

#### 6. 講演『災害支援ナースって知ってますか?』についての満足度

満足	やや満足	やや不満	不満足	未回答
94	9	0	0	0

(理由)

- ・災害支援ナースの存在や役割、現状を詳しく知ることができた
- ・長崎県の登録者数について研修方法について知れた。キャリアプランを考えさせられた。
- ・自分も将来、災害支援ナースの研修を受けてみたいと思ったから
- ・災害支援ナースの方の話を初めてお聞きしました。支援活動にあたる際の医療者の日々の注意点まで考えながらの活動は、素晴らしいことだなと感じました。看護学生さんたちにも分かりやすい内容だったと思いました。
- ・初めて災害支援ナースについて耳にして、とても興味が湧いたから
- ・テレビで見る災害時の医療チームのイメージが強かったのですが、3日目以降の被害者のケアを行う素敵な仕事だと思いました

#### 7. 講演『災害支援者のメンタル支援について』についての満足度

満足	やや満足	やや不満	不満足	未回答
92	11	0	0	0

(理由)

- ・精神医療の重要性を改めて感じる事ができた
- ・支援する側のケアについて考えるきっかけができたから
- ・災害支援者のストレスが大きいことがわかった。行政職員はたいへんだなと思った。他人ごとではない、被災と支援はつらいなと思った。
- ・DMA Tは知っていたけど、DPATはしらなかったなので勉強になった

- ・災害支援者である医療者やボランティアのケアの重要性が分かった。
- ・DPATは災害後だけでなく、派遣前・中もしっかりメンタルケアを行っていることを学べたから
- ・支援には、みんなの目があっても支援者のメンタルケアまで手が届いていないと強く感じました。これからもっと重要視されるべきだと感じました。
- ・精神面のコントロールは本当に難しいものだなあと思いながら公演を聞かせて頂きました。ストレスを感じていることに気づかず使命感だけでひたすら医療に従事される方の厳しい現状があることもわかりました。
- ・精神支援について何も知らなかったので、メンタル支援の重要性を知れて良かった。動機に感動した。DPATが増えることを望みます。
- ・被災者の方の心 pensando DPATを作っていて素晴らしい支援だと思いました

## 7. ご意見・ご感想、また、ご要望について

- ・災害支援ナースのお話が印象深かった。また、DPATのように支援者のメンタルヘルスもしっかりケアしないといけないと思った。
- ・看護師のやりがいについて再認識することができて良かったです。ありがとうございました。
- ・災害の中では地域とのかかわりの必要性や支援者へのメンタルヘルスの重要性をよく学ぶことができた。この機会は貴重な体験となったため、今後に活かしていく
- ・今、災害が多い中、「災害から備えを学ぶ」ことができてよかったです。
- ・今回、災害の危険性やそれに備えた対策などを学ぶことができました。すごく為になりました。
- ・災害の場で看護がどのような役割を果たしているのか考えることができました。これから看護師を目指す私たちにとってとても為になる講和でした。ありがとうございました。
- ・ふれあい看護体験の6名の方の話を聞いて看護の原点にもどれた気がします。災害については何度も何度も伝えていく必要があると思います。
- ・たくさん学ばせていただき、初めて知ったことも多く、とても為になりました。これから看護師を目指していく中で今日のことを生かしていきたいです。
- ・避難場所での過ごし方には様々な工夫がされているのだということを知ることができた。また、災害支援ナースやDPATの仕事内容や役割についてたくさん学ぶことができた。
- ・地震や津波など災害が多く起こる日本でDMATやDPATの存在はとても重要だと感じた。長崎県のDMATが81人と少ないことを知り、人手不足になるとNsの負担が大きくなるため、DMATやDPATの人材が増えてほしいと思った。地震が起きた時に備え、避難バックを準備したりハザードマップを見ておきたいと思う。また、自分だけ避難せず、地域の人も助ける共助ができるようにしたいと思う。
- ・高校生の方々の体験発表を聞き、同じ道を進みたいと考えてる高校生の発表に共感できた。また、災害看護の方のお話を聞いてすごく興味を持った
- ・講演だけでなく、様々なブースもあったので、たくさんの知識を得ることができた。
- ・段ボールを使わずにとこで寝ると感染症にかかることが分かった
- ・災害時の医療の大切さやナースの対応について知ることができた
- ・災害についての意識をさらに高めるきっかけになりました。少しでも備えができる場合もあれば、昨今突然の道路陥没や水道管破裂による被害、とても気になります。今後の企画として「命のはじまり」について一般の人が学ぶ機会がほとんどないのであったらいいなと思いました
- ・”看護”に関する仕事は大半が女性、男子は極少ないことを知った。しかし災害現場は男子の能力が大切。男子も看護に関心をもってほしい。私は農林園芸関係専門のため、男子が大半、看護師の大変が分かった

- ・介護、特に認知症等について
- ・自分と同じ高校生の体験談や感想を聞いて、自分も参加したいと思いました。そのほかにも県内の病院についても様々な資料があり、とても興味深く、将来に役立てそうだと思います。会場の雰囲気もやわらかく参加して良かったと思いました。
- ・知らなかったお話がたくさんあり、すごく興味深かったです。一番私がびっくりしたのは避難所での犯罪や盗難があることでした。看護師は他に皮膚科などもあるから色々な科を聞きたい
- ・看護は病院だけでなく、地域に広がっていると実感した。災害に関わる人のメンタルヘルスが大事と分かった。

## 9. アンケート回答者

一般	看護協会会員
79	24



講演



ふれあい看護体験発表



施設紹介



フットケア

